

検 定 意 見 書

受理番号 105-21		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 1	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	16 - 17	15 - 2	問2及び②	生徒にとって理解し難い問題である。 (素因数が2種類以上ある場合に、累乗の指数を使って表すことがどのような意味なのか分からない。)	3-(3)				
2	85	7 - 8	3に0や負の数をかけた形で表せる数も、3の倍数であると考え。	不正確である。 (「負の数」の条件)	3-(1)				
3	113	2	「/」	生徒にとって理解し難い記号である。 (説明がないので分からない。)	3-(3)				
4	141	22	→ p.141 □74 □75	生徒にとって理解し難い表現である。 (ページ番号と問題番号の関係が分からない。)	3-(3)				
5	156	18 - 24	□5(1)	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どの単位で答えるのか分からず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
6	180	14 - 15	下の図の△ABCで、次の直線を作図しなさい。 (1) 辺ABを底辺とするときの高さ	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (高さをどのように直線で表すのか分からず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
7	181	3	角度を作図 他に、りおさんの考えにおける「90°の作図」及び「60°の作図」、りおさんの吹き出しにおける「90°や60°の作図」、ゆうまさんの吹き出しにおける「作図できる角度」、5行「作図できる角度」、182ページ4行「75°をどのように作図したのか」、9行「75°以外の角度を作図」	生徒にとって理解し難い表現である。 (数値である角度をどのように作図するのか分からない。)	3-(3)				
8	187	図	模様の設計図の3つの図 他に、①の右の図	生徒にとって理解し難い図である。 (ます目と模様の関係が分からない。)	3-(3)				
9	217	20 - 21	問2	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (不明な長さがあるため、表面積を比較できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 105-21		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 1
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	250	吹き出し	左上の囲みの吹き出し「xの項どうして単位がそろっていると考えられるね。」 他に、右下の吹き出し「単位をそろえて考えて、どれも2+3を計算している	生徒にとって理解し難い表現である。 (「単位」をどのような意味で用いているのか分からない。)	3-(3)	
			ね。」、右端縦書きの囲み「加法の計算は、項の単位に着目して考える。」			
11	256	囲み	右下の⑤の囲みにおける「bd/ac」 他に、「bc/ad」	生徒にとって理解し難い表現である。 (算数で学ぶ表現ではないので分からない。)	3-(3)	
12	265	囲み	左上の「直線と平面の垂直」の囲みにおける「直線 l が、平面 P にある2直線 m 、 n に垂直になっていれば、直線 l は平面 P に垂直である。」	不正確である。 (2直線 m 、 n の条件が不足している。)	3-(1)	
13	286	表題	グラフを使って考えよう 発展	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)	
14	291	21	□3 テープで同じ数字どうしをはりつける。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (同じ数字どうしをどのようにはりつけるのか分からず、目よけの模型を作ることができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
15	303	22左	□30(4)の解答	生徒にとって理解し難い解答である。 (なぜこのように表現できるのか分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 105-22		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 2
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	27	8	半円部分の半径 他に、28ページ3行、7行	生徒にとって理解し難い表現である。 (どこのことなのか分からない。)	3-(3)	
2	60	側注	10行右側注における「1年 p.121」 他に、70ページ3行右側注における「1年 p.121」、164ページ4行右側注における「1年 p.243」	生徒にとって理解し難いページである。 (示されたページが何を表しているのか分からない。)	3-(3)	
3	90	表題	数学×気象予報士 社会 発展	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)	
4	155	23 - 27	右のような避難はしごは、それぞれの手すりが地面と平行を保ったまま伸び縮みできるように、平行四辺形が利用されています。	生徒にとって理解し難い表現である。 (それぞれの手すりが地面と平行を保ったまま伸び縮みできる理由として理解し難い。)	3-(3)	
5	195	囲み	右下の「2次式になったら… 発展」の囲みにおける「次の方程式を解きなさい。 $x^2-12x+32=0$ 」	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (2次方程式の解法を学んでいないため、解けないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
6	232	23 - 28	③ あるますの2段目の数をa、1段目の数をbとします。このますにあてはまる数を求める手順を右の図のように表したとき、□にあてはまる数や式を求めましょう。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (「あるます」と「このます」が何を指すのか分からず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
7	237	表題	パスカルとフェルマーの手紙 発展	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)	
8	241	図	右段17行「章の問題□A p.92」の□4の解答におけるグラフ用紙の図	相互に矛盾している。 (92ページ□4におけるグラフ用紙の図の範囲と異なる。)	3-(1)	
9	246	3 右	「章の問題□B p.177～178」の□3(2)の解答における「{B, F}」	生徒にとって理解し難い記号である。 (177ページ□3(2)の例示と異なるので分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 105-23		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	12	4	どのコースが先にゴールするのか、確かめてみましょう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (紙面上でどのように確かめるのか分からない。)	3-(3)	
2	25	図	2-5行右の図	生徒にとって理解し難い図である。 (辺の長さの条件が分からない。)	3-(3)	
3	42	囲み	左端の囲みにおける「2節 p.42 ~ 50」	生徒にとって理解し難い表現である。 (節番号とページ番号の関係が分からない。)	3-(3)	
4	89	1 - 16	例3	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (正方形ABCDの1辺の長さが示されておらず、考察できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
5	91	写真	写真のキャプションにおける「世羅高原農場」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
6	111	吹き出し	右のゆうまさんの吹き出し「それなら発展」	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)	
7	178	17 - 19	円周上の点の数を7つにして、点の結び方を変えてかいてみましょう。印をつけた7つの角の和はどうなるでしょうか。	生徒にとって理解し難い表現である。 (どの角に印をつけたのか分からない。)	3-(3)	
8	180	側注	右上の側注における「1年 p.179」	生徒にとって理解し難いページである。 (示されたページが何を表しているのか分からない。)	3-(3)	
9	187	吹き出し	ルーローさんの吹き出し「(ア)～(オ)を(カ)の上に並べてみよう。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (紙面上でどう活動してよいのか分からない。)	3-(3)	
10	195	吹き出し	りおさんの吹き出しにおける「はしごの支点」 他に、7行、8行	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がないので分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 105-23		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	210	写真	写真のキャプションにおける「大村メガソーラー発電所」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
12	229	吹き出し	下の吹き出し「 $y=2x^2+3$ は $y=2x^2$ を平行移動させたグラフになるのかな。」	生徒にとって理解し難い表現である。 (式と図形を混同している。)	3-(3)	
13	235	囲み	右上の「比例のグラフ」の囲みにおける「 $a>0$ 」, 「 $a<0$ 」 他に, 「反比例のグラフ」の囲みにおける「 $a>0$ 」, 「 $a<0$ 」	生徒にとって理解し難い条件である。 (「 a 」が何か分からない。)	3-(3)	
14	237	囲み	右上の「直線や平面の垂直」の囲みにおける「直線 l が、平面 P 上にある2直線 m , n に垂直になっていれば、直線 l は平面 P に垂直である。」	不正確である。 (2直線 m , n の条件が不足している。)	3-(1)	
15	262	18	レポートのまとめかたの例	生徒にとって理解し難い表現である。 (このページの表題との関係が分からない。)	3-(3)	
16	264	表題	瞬間の速さ 発展	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)	
17	264	13 - 14	② ①で分けた三角形をそれぞれの辺の中点を結んで、三角形を分けましょう。また、この作業をくり返してみましょう。	生徒にとって理解し難い作業である。 (①では三角形を扱っていないので分からない。)	3-(3)	
18	265	表題	容積を最大にするには？ 発展	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 105-27		学校 中学校		教科 数学		種目 数学		学年 1	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	2	2	節	生徒にとって理解し難い表現である。 (「節」が何を示しているのか分からない。)	3-(3)				
2	126	図	「フード・マイレージ1tkm当たりの二酸化炭素排出量(g)」の図の「船 40」	不正確である。 (外航船舶の値として)	3-(1)				
3	137	15	縦90cmの長方形の窓をxcm開けたとき	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (窓の開き方が示されていないので、以下の間に解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)				
4	214	1	右の写真	不正確である。 (右に写真は無い。)	3-(1)				
5	221	18 - 25	正多面体の双対性 発展	発展的な学習内容には該当しない。	2-(15)				
6	237	11 - 14	多面体の $\sim t-s+m=2$	不正確である。 (条件が不足している。)	3-(1)				
7	268	10	https://www.stat.go.jp/ ほか13行の 「https://www.jma.go.jp/jma/menu/m enureport.html」, 15行の	学習上の参考に供する情報を参照させるウェブページのアドレスは、発行者が管理するものでない。	2-(18)				
			「https://www.mext.go.jp/b_menu/to ukei/main_b8.htm」, 17行の 「https://www.maff.go.jp/j/tokei/ 」,						
			19行の 「https://www.meti.go.jp/statistic s/index.html」, 21行の 「https://www.env.go.jp/doc/toukei						
			/index.html」						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 105-28		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 2
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	2	2	節	生徒にとって理解し難い表現である。 (「節」が何を示しているのか分からない。)	3-(3)	
2	54	1	発展 高等学校	不正確である。	3-(1)	
3	101	13 - 23	数学へのいざない 気温とアイスクリームの売り上げ	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (散布図の学習)	2-(17)	
4	246	9 左	「1章 式の計算[解答]」の□2(4)の解答	誤りである。	3-(1)	
5	249	4 右	「4章 図形の性質の調べ方[解答]」の「トライ・P.135」の解答の②の「点P」ほか右段5行の解答の③の「点B」	誤りである。	3-(1)	
6	250	1 右	条件を変えて考えよう	相互に矛盾している。 (145ページの表題と相互に矛盾している。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 105-29		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	2	2	節	生徒にとって理解し難い表現である。 (「節」が何を示しているのか分からない。)	3-(3)	
2	23	4	巻末②の図を切り取って使いましょう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (巻末②の図をどのように使うのか分からない。)	3-(3)	
3	98	8 - 13	(2), (3)及び(4)	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (場合の数を計算によって求めること)	2-(17)	
4	99		深めよう 2次方程式のおもしろい解き方 (全体)	発展的な学習内容であることが明示されていない。 (二次方程式を因数分解したり、平方の形に変形したり、解の公式を用いたりして解くことを超える学習)	2-(17)	
5	129	写真	中の写真のキャプションの「天保山大観覧車」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
6	130	写真	右上写真のキャプションの「観覧車アミュラン」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
7	210	1	□1(2)	学習指導要領に示す内容と客観的に区別されておらず、また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (円に内接する四角形の性質を利用する問題)	2-(17)	
8	258	1	「久山町」のルビ	不正確である。	3-(1)	
9	274	11	レンズの焦点(0)	不正確である。	3-(1)	
10	304	11 - 21 右	「5章 相似な図形[解答]」の「応用」の□4の解答	生徒にとって理解し難い解答である。 (問題とどう関係しているのか分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 105-30		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 1
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	16	19 - 20	このように、1とその数自身の積の形でしか表せない自然数を素数という。	不正確である。 (どのように積の形を考えるのか分からない。)	3-(1)	
2	86	12	偶数は、2でわりきれ数だから、2の倍数である。	生徒にとって理解し難い表現である。 (負の整数の場合、2でわりきれるとはということか分からない。)	3-(3)	
3	93	2	右の図の長方形ABCD	生徒にとって理解し難い表現である。 (右のどこを指すのか分からない。)	3-(3)	
4	136	表	輸送手段と二酸化炭素の排出量の表	不正確である。 (船の二酸化炭素の排出量)	3-(1)	
5	174	7 - 8	このように、直接調べることが難しい数量も、ほかの数量との関係に着目すると、知ることができる場合があります。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「星の色」が数量なのかが分からないため、この2行の結論が分からない。)	3-(3)	
6	292	7	a:bの比の値はa/bになる。	不正確である。 (小学校では比の値としてa/bという表記は学習していない。)	3-(1)	
7	341	囲み	下の「1年の復習問題」の囲み	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (必ずウェブサイト接続して、当該学習を行わなければならないかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 105-31		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 2
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	17	5 - 6	6a-b+5のように、単項式の和の形で表された式を多項式といい、	不正確である。 (和の形では表されていない。)	3-(1)	
2	94	吹き出し	右下の吹き出しの「2つの式の交点」	不正確である。 (式と図形を混同している。)	3-(1)	
3	124	2 - 3	右の図のような四角形があります。	生徒にとって理解し難い表現である。 (119ページ9-10行右の側注との関係が分からない。)	3-(3)	
4	180	写真	右上の写真のキャプション「ルスツリゾート」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
5	244	吹き出し	左下の吹き出しの「左の例では」	生徒にとって理解し難い表現である。 (241ページ右下の吹き出しに照らして)	3-(3)	
6	265	21 左	四角形CBEE'	不正確である。	3-(1)	
7	268	19 - 20 左	14(2), (3)の解答	生徒にとって理解し難い解答である。 (何に対する解答か分からない。)	3-(3)	
8	273	囲み	下の「2年の復習問題」の囲み	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (必ずウェブサイト接続して、当該学習を行わなければならないかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 105-32		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	114	写真	右下写真のキャプション「箱根強羅公園」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
2	166	側注	10-15行の●4の側注の「p. 163 たしかめ1」	生徒にとって理解し難い表現である。 (163ページに「たしかめ1」はない。)	3-(3)	
3	226	10 - 11	●4 及び295ページ左段23行●4の解答	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (底面の形が分からず体積が求められないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
4	240	表	問2(1)の表の「標本の大きさ」が「20個の場合」の「標本の平均値(g)」の上段右から2つ目の「95.0」	不正確である。 (この標本平均の値を実現する標本は存在しない。)	3-(1)	
5	249	写真	左下写真のキャプション「ナガシマスパーランド」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
6	252	13	産業革命以前(1960年ごろ)	不正確である。	3-(1)	
7	293	13 左	5章「相似な図形」の1節「基本の問題 p. 153」の●3の解答における「 $\triangle ADC \sim \triangle AEF \sim \triangle BEC \sim \triangle BDF$ 」	生徒にとって理解し難い表現である。 (相似記号の連続使用の意味が分からない。)	3-(3)	
8	295	39 左	7章「三平方の定理」の「章の問題」の「学んだことを活用しよう p. 230」の■1(2)の解答 及び右段1～12行の[説明]	不正確である。 (与えられた数値で解答していない。)	3-(1)	
9	300	9 - 10 右	5章「相似な図形」の「補充問題 p. 283」の10の[証明]の「①, ③より, 2組の対辺がそれぞれ等しいから」	不正確である。	3-(1)	
10	308	囲み	下の「3年の復習問題」の囲み	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (必ずウェブサイト接続して、当該学習を行わなければならないかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 105-33		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 1
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	1	22 - 25 左	ページの下にあるQRコードから「補充問題 ◆もっと練習しよう◆」に取り組みましょう。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (必ずウェブサイトへ接続して、当該学習を行わなければならないかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)	
2	6 - 7	6 - 8	1章「正の数・負の数」では、～「範囲をひろげる」の標識は置かれていません。	生徒にとって理解し難い表現である。 (1章で学ぶ「-」のついた数や「負の数」が分からないとこの例示は分からない。)	3-(3)	
3	80	写真	右下の写真のキャプション「マリンワールド海の中道」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
4	90	11	前ページの(説明しよう)で求めた4は、	生徒にとって理解し難い表現である。 (前ページでは求めている。)	3-(3)	
5	288	表	上から2つ目の「1942年8月の最高気温」の表 他に、上から4つ目の「2022年8月の最高気温」の表	生徒にとって理解し難い数値である。 (1.00の値)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 105-34		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 2
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	1	22 - 25 左	ページの下にあるQRコードから「補充問題 ◆もっと練習しよう◆」に取り組みましょう。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (必ずウェブサイトに接続して、当該学習を行わなければならないかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)	
2	6	7	1年の7章「データの活用」では他に、7ページ4行「1年の2章「文字の式」では	生徒にとって理解し難い表現である。 (示された章番号が何を表しているのか分からない。)	3-(3)	
3	52	写真	右上の写真のキャプション「阿蘇ファームランド」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
4	52	写真	右上の写真のキャプション「熊本県阿蘇市」	不正確である。	3-(1)	
5	197	10	(4) 平均値を求めなさい。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (度数分布表から平均値を求めることは、第1学年において必ずしも学習しているとは限らないため、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
6	222	1	発展 どちらのくじをひこうかな?	学習指導要領上の位置付けが明示されていない。	2-(17)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 105-36		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 1
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	4	8	単元	生徒にとって理解し難い表現である。 (何を示しているのか分からない。)	3-(3)	
2	5	4 右	節	生徒にとって理解し難い表現である。 (何を示しているのか分からない。)	3-(3)	
3	100	4	x= の形 他に, 8行, 101ページ3行	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「x=」だけの形だと誤解するおそれがある。)	3-(3)	
4	130	3	xの値が2倍, 3倍, ……になると, yの 値も2倍, 3倍……になる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「3倍, ……」と「3倍……」の対応が分からない。)	3-(3)	
5	151	1 - 27	例1及び問1	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (再生速度と再生時間の関係について説明がなく, 考察できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
6	169	1	日本に古くからある麻の葉文様	生徒にとって理解し難い表現である。 (どれが麻の葉文様なのか分からない。)	3-(3)	
7	230		学んだことを活用しよう (全体)	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (アイスクリームディッシャーですくった球状のアイ ス何個を1人分とするのかが示されておらず, 解答 できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
8	247	4	Qのアトラクション 他に, 11行	生徒にとって理解し難い表現である。 (何のことか分からない。)	3-(3)	
9	253	2 - 8	TRY1 靴の仕入れについて計画を立て よう	生徒にとって理解し難いデータである。 (「6000人に聞いた「普段履いている靴のサイズ」 」のデータが, なぜ中学生用の靴の仕入れ計画の参 考になるのか分からない。)	3-(3)	
10	295	4 左	比の項	不正確である。 (算数での学習内容ではない。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 105-36		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 1
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	295	23 左	$a \neq 0$	生徒にとって理解し難い表現である。 (127ページ21行での説明との関係が分からない。)	3-(3)	
12	295	28 左	$a \neq 0$	生徒にとって理解し難い表現である。 (140ページ8行での説明との関係が分からない。)	3-(3)	
13	298	22 左	右の3つの場合がある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (右のどの場合なのか分からない。)	3-(3)	
14	307	26 右	活用256ページ	誤りである。 (256ページに「活用」の問題はない。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 105-37		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 2
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	4	8	単元	生徒にとって理解し難い表現である。 (何を示しているのか分からない。)	3-(3)	
2	5	4 右	節	生徒にとって理解し難い表現である。 (何を示しているのか分からない。)	3-(3)	
3	12	写真	右下の写真のキャプションにおける「よこはまコスモワールド」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
4	31	囲み	10-13行右の囲みにおける「 $83+87=\square=11\times\square$ 」	生徒にとって理解し難い表現である。 (例2とどのように関係するのか分からない。)	3-(3)	
5	44	図	黒板の図における「職場体験実習実習の班決め」	生徒にとって理解し難い表現である。 (5行目の記述との関係が分からない。)	3-(3)	
6	82	5 - 6	$y=-2x+3$ は右下がりの直線になっている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (式と図形を混同している。)	3-(3)	
7	144	2 - 18	ある川の川幅が何mあるかを知りたい～移動した距離が、川幅と等しくなる。	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (川岸の条件が不足しており、考察することができないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
8	165	3 - 5	さらに、別の罫線の上に長さ4cmの線分BCをかき、AとB、CとDを線分で結んで、四角形ABCDをかきます。	不正確である。 (線分BCのとり方によっては四角形ABCDはかけない。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 105-38		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	前見返し2	写真	右上の写真のキャプションにおける「大分県竹田（たけだ）市」	不正確である。 (ルビ)	3-(1)	
2	4	8	単元	生徒にとって理解し難い表現である。 (何を示しているのか分からない。)	3-(3)	
3	5	4 右	節	生徒にとって理解し難い表現である。 (何を示しているのか分からない。)	3-(3)	
4	22	13	問6	生徒にとって理解し難い表現である。 (23ページ問7の問い方との違いが分からない。)	3-(3)	
5	76	9 - 20	問2	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (どの単位で答えるのか分からず、解答できないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
6	138	写真	左上の写真のキャプションにおける「神戸どうぶつ王国」	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
7	245	図	3つの箱ひげ図を並べた図	不正確である。 (単位がない。)	3-(1)	
8	305	囲み	左上の「比例と反比例」の囲みにおける「 $y=ax$ ($a \neq 0$)」	生徒にとって理解し難い表現である。 (112ページ右下の「ふりかえり」の囲みでの説明との関係が分からない。)	3-(3)	
9	308	囲み	中央上の「円柱の展開図」の囲みにおける展開図	生徒にとって理解し難い表現である。 (表題との関係が分からない。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 105-39		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 1
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	19	図	17～19行右のキャラクターの図における「誤答に注意！」	生徒にとって理解し難い表現である。 (誤答になる理由が分からない。)	3-(3)	
2	177	6 - 10	問3	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (もとの円を描こうとすると問3の問題文と重なるため、円が描けないという支障を生ずるおそれがある。)	2-(1)	
3	250	図	右段中の図1の説明文の「左の写真のホールを真横から見た断面図。」	不正確である。 (左の写真では「ステージ背後の壁」は図1のようになっていない。)	3-(1)	
4	253	グラフ	13～20行右のグラフ	生徒にとって理解し難いグラフである。 (黒の実線が何を表しているのか分からない。)	3-(3)	
5	261	18	https://scratch.mit.edu	学習上の参考に供する情報を参照させるウェブページのアドレスは、発行者が管理するものでない。	2-(18)	
6	287	11 右	「5章の問題 p. 185」の④の解答	誤りである。 (「孤の長さ」)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 105-40		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 2
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	13	1 - 2	お姉さんは陸さんが5つの数の真ん中の選んだ数をあてられたのでしょうか。	生徒にとって理解し難い表現である。 (陸さんが何をしたのか分からない。)	3-(3)	
2	101	3 - 4	「 $\angle a$ 」, 「 $\angle e$ 」, 「 $\angle b$ 」, 「 $\angle f$ 」, 「 $\angle c$ 」, 「 $\angle g$ 」, 「 $\angle d$ 」及び「 $\angle h$ 」	生徒にとって理解し難い記号である。 (右図との対応が示されていないので直線1, mと直線nとでできるどの角を表しているのか分からない。)	3-(3)	
3	210	グラフ	「つばめ311号」のダイヤグラム	不正確である。 (「2023年1月21日」時点の時刻表に照らして)	3-(1)	
4	215	13	https://scratch.mit.edu	学習上の参考に供する情報を参照させるウェブページのアドレスは、発行者が管理するものでない。	2-(18)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 105-41		学校 中学校		教科 数学	種目 数学	学年 3
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	219	8 右	取り出すことです。	誤記である。	3-(2)	
2	231	20	https://scratch.mit.edu	学習上の参考に供する情報を参照させるウェブページのアドレスは、発行者が管理するものでない。	2-(18)	
3	262	9 右	「基本の問題 2節 因数分解 p.33」の④(1)の解答	誤りである。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。